

行政常任委員会

令和 4 年 8 月 3 0 日（火）

午前 1 0 時 5 9 分 開 会

○村田委員長 ただいまより、行政常任委員会を開会いたします。

本日は、南靖久委員、内山左和子委員が所用のため欠席でございます。

過日、市長の記者会見等でありまして、新聞報道されました尾鷲市の S E A モデルの中での企業進出について、これについて、当局より説明を求めたいと思います。よろしくお願いを申し上げます。

まず、市長から。

○加藤市長 委員の皆様におかれましては、議会運営委員会、そして、全員協議会に引き続きまして、行政常任委員会を開催していただきまして、誠にありがとうございます。

本日は、中部電力、尾鷲商工会議所と一緒に進めております、おわせ S E A モデルにおいて、このほど、中部電力三田火力発電所跡地の燃料第 2 ヤードでのグランピング施設の開業に向けた企業進出が確定し、先週 8 月 2 6 日に事業者による記者会見が行われましたので、報告させていただきます。

なお、詳細につきましては、担当調整監より説明いたさせますので、よろしくお願いたします。

○濱田政策調整課調整監 おはようございます。政策調整課です。よろしくお願いたします。

本日は、おわせ S E A モデル（企業誘致）についてにつきまして説明させていただきます。

本日の資料につきましては、先週 8 月 2 6 日開催の記者会見において、事業者である株式会社インフィニティ 5 2 から提供されたものであり、記者会見での同社の説明を基に説明させていただきたいと思っております。

それでは、1 ページを御覧ください。

通知いたします。

こちらの三重県尾鷲市初、火力発電所跡地を活用したグランピング施設の開業というのは、国の事業再構築補助金の採択名称となっております。

次のページを御覧ください。

事業エリアは、中部電力尾鷲三田火力発電所燃料第2ヤード跡地の東側先端、おわせマルシェの対面、約9,500平米であり、土地の使用につきましては、現在中部電力との賃貸借契約となり、協議中であります。

次のページを御覧ください。施設名称は、仮となりますが、尾鷲の音色の森キャンプ場であります。日常を忘れ自然の音色を楽しむをコンセプトに、都会の喧騒を忘れ、森の木々の音、海の音、雨の音、自然が奏でる様々な音色の中で、非日常の体験を提供するものであり、ターゲットは、東海圏の20代から30代、ファミリー層、時間に余裕のあるシニア世代となります。

オープン時期は、来年2023年初夏の予定とありますが、ゴールデンウィーク前の開業を予定しております。

次のページを御覧ください。

事業概要といたしましては、グランピングのほか、オートキャンプ、フリーキャンプ、来場者同士のコミュニケーションが取れるキャンプファイアー施設、子供向けアスレチック施設が併設されます。

来場される方には、尾鷲の観光資源を活用したサービスの体験の一つとして、尾鷲の食の体験、海の幸、山の幸へのバーベキューの展開を予定しております。

また、2年後の2024年は、熊野古道世界遺産登録20周年となりますので、施設の近くにある世界遺産熊野古道、八鬼山峠や海でのアクティビティー体験、名古屋のイベント会社が運営する施設として、夢古道おわせやおわせマルシェなどとも連携を図りながら、様々な体験を企画していきます。

次のページを御覧ください。

施設のイメージ図となります。

玄工山側がグランピング施設となり、常設ではありませんが、スライムテント、ドームテント。おわせマルシェ側、北浦向井線側になりますけれども、こちらは、ACサイトエリア、西側にフリーサイトエリア、中央にはキャンプファイアー施設、炊事、トイレ、シャワー、アスレチックを配置する予定であり、尾鷲にマッチするものを一からつくっていくものであります。

次のページを御覧ください。

こちらはイメージ図を拡大したものであります。

次のページを御覧ください。

7ページとなります。

施設概要となっており、グランピング施設10棟、ACサイト、AC電源が取れ

るところのサイトですが、これが8区画、フリーサイトとして20区画などとなっております。

料金設定につきましては、ここでは食事代は入っておりませんが、利用料金の目安額となっておりますので、今後変更になる場合があります。

次のページを御覧ください。

事業スケジュールです。先週8月26日の記者会見をはじめ、10月頃から、全国的な告知も兼ねたクラウドファンディングの募集、11月から工事スタートを予定しており、その後は、ホームページの開設、人材募集、広報宣伝等を行い、2023年の5月、ゴールデンウィーク前のオープンを予定することとなっております。

最後に、インフィニティ52の会社概要となります。

広告代理店勤務を経て、2017年、平成29年9月に独立し、翌年2018年にこの法人を立ち上げ、主に名古屋では、大手広告代理店からの委託事業をはじめ、イベント企画、制作、運営、商業施設のプロモーションを行っております。

事業実績の例といたしましては、ヒューマンアカデミー中部地区ロボット教室大会、どまつりにおけるサントリーブース、トヨタテクニカルコンテスト、東邦ガスの読書感想文コンクールや、三好いいじゃんまつり、スーパーGTフォーミュラオートボックスブースや、各種医学会の学会運営など、多岐において携わっております。

こちら既存のイベント事業につきましては、名古屋で引き続き運営していきますが、本市での事業を推進するため、新たに9月頃を目途に、尾鷲支社を設立し、地元雇用正社員2名、交代勤務のパート約10名程度により施設運営を行っていくこととなっております。

以上、おわせSEAモデル、企業誘致についての説明とさせていただきます。よろしく申し上げます。

○村田委員長　ただいま担当より、おわせSEAモデルへの企業参加が報告をされました。

株式会社インフィニティ52ということで、中身についても、ざくっと説明があったわけでありますけれども、この案件は報告でございますけれども、特に御意見のある方は、御発言を願いたいと思います。御意見ございませんか。

○中村委員　少し教えていただきたいんですけれども、これ、尾鷲とどういうふうに絡むというのか。これ、底地は中部電力のものですよね。そして、尾鷲市が絡むということは、例えば、この企業に対して、固定資産税、中部電力からの固定資

産税をこの面積だけ免除するとかという、そういう絡み方をするんですか。

○濱田政策調整課調整監 中部電力の固定資産を減免するとか、そういうことは考えておりません。

尾鷲市とこの事業者との関わりにつきましては、例えばおわせマルシェであったり、夢古道、各種団体とのつながりであったりとか、周りの環境整備、例えば玄工山であったりとか、河川の部分であったりとか、周りの環境整備という部分では、市としても関わりますが、それによって何か補助を出したりとか、減免をするということは考えておりません。

○村田委員長 よろしいですか。

○中村委員 ということは、例えば土地の賃貸契約とかは、この企業と中部電力が結ばれて、尾鷲市は周辺との調整をされるだけという理解でよろしいですか。

○村田委員長 調整監、ちょっとその辺のところを詳しく説明してやってください。

○濱田政策調整課調整監 土地の契約につきましては、土地は全て中部電力さんの所有地となっておりますので、中部電力と進出事業者の方が賃貸借契約を締結するということになります。

ですので、その部分について、何か尾鷲市がその該当部分について減免をするとか、そういうことは一切考えておりません。

ですので、今までどおり中部電力さんから固定資産税はいただくということとなっております。

当然、おわせマルシェがあります、向井がありますという、それぞれの点が存在するわけですけれども、事業者さんはあくまで、そこのエリア9,500の中でグランピングとか事業をするわけですので、当然、例えばそこの玄工山は、これは商工が管理しておる場所だと思うんですね。桜並木の部分になりますけれども。

だから、そういう部分での周辺環境の整備であったりとか、当然マルシェさんからも話があると思うんですけれども、河川を活用できないかとかいうような部分があって、それは何かというと、海のアクティビティーにつながるものじゃないのかというようなお話があるかと思しますので、そちらへの、例えば河川管理者への働きかけであったりとか、尾鷲の指定管理を任せておる夢古道へのつながり、今回このグランピング施設も、風呂、温浴については夢古道を活用すると聞いておりますので、そういう夢古道の調整であったりとか、この事業者さんが事業をしていく上で、円滑に事業が推進できるように、共に発展できるような形で支援できればな

というふうに考えております。

○村田委員長　　よろしいですか。

○西川委員　　一つちょっと懸念があるんですけど、せっかく尾鷲にこうやって盛り上げてくれるのはすごくいいと思うんですけど、この場所が、先日の24日の広域ごみので、物すごく反対されていた地元の業者さんがいましたよね。

その人の真横で、了解はもうちゃんと取っておるんですか。

○濱田政策調整課調整監　　現実、了解は取っているかというのと、まだかも分かりません。

ただ、事前、いろいろな報道がありますので、これから業者と尾鷲の関係の方を含めて、全て近隣の方に御挨拶に行って、説明をするということですので、そのように伺っております。

○西川委員　　それだったら、広域ごみの二の舞になりませんか。せっかく来てくれるのに、一番先に言っておかなあかんのじゃないんですか、これ。

それで、地元住民の方も怒っておるわけなんでしょう。それ、同じことを二度やるのは、ねえ、ちょっといかなもんかと思うもので、まず、一番先にとって、この図面を見せて、了解してもらわんと、来る業者さんも気を悪くしますよ。これ、早急に言ったほうがいいと思います。

○濱田政策調整課調整監　　早急に対応させていただきます。

○中村委員　　それと、これ、給排水の図面もやっぱり出していただくべきやと思うんですよ。この人数で、どれぐらいの規模の浄化槽を入れられて、これ矢ノ川に出していかれると思うんですけども、この下、人家もあんまりないと思うんですけれども、ちゃんとした……、まあ、上水道は来ていると思うんですけども、浄化槽の計画もここに一緒にいただけたらありがたかったかなと思います。

○濱田政策調整課調整監　　浄化槽につきましても、業者のほうできちんと今手配をしておりますので、よろしく申し上げます。

○村田委員長　　他にございませんか。

○仲委員　　一つのSEAモデルの中の企業誘致ということで、歓迎すべきことだというふうには思うわけですが、まだ、この会社の紹介を見ると、日も浅くて、従業員も4名という中で、今までのやり取りの中で、例えばここの社長が尾鷲に縁があって、尾鷲の自然が気に入ったというようなお話とか、これまでの尾鷲の関わりというのは、お話はありませんでしたか。

○濱田政策調整課調整監　　この会社の社長ですけれども、もともと三重大学の水

産生物資源学科卒業であります。大学時代にそういうダイビングスクール等も属していたというふうに聞いておりました、尾鷲のガンガゼ駆除とかで以前から尾鷲に入っていた、そのときにいろいろと尾鷲の魅力、外から見たら尾鷲はいいところだなというふうに感じていただいたようです。

その後、コロナにおける、いろんな給付金、国からあったと思うんですが、その家賃支援の関係で、熊野・尾鷲での部分をこの会社が受けて、尾鷲担当でやっていただいたときに、再度この尾鷲の魅力を再確認して、ここで何かしたいというふうに提案いただいたのがスタートであります。

もともと事業所といたしまして、アスレチックとか大規模なものを考えていただいたんですけど、補助金とかいろんな関係で、今回のキャンプ施設になりました。

以上です。

○仲委員 三重大学の水産学部を出ておるということであれば、尾鷲の海についても、磯についても詳しく知られているのかなど。それで、何回か訪れているようなふうでございますので、海、山も十分御存じだと思っておりますので、歓迎するという意味から、補助金どうのというのじゃなしに、尾鷲市が対応できる、いろいろな国の支援とか県の支援で対応できるものは、ぜひ協力をしてやってほしいと思うんですけど、いかがですか。

○濱田政策調整課調整監 各課連携の中で、水産なり商工、いろいろ各課、どこって、まだ決まっておられませんけれども、各課連携の中で協力できるときは積極的に協力していきたいと思っております。

○村田委員長 他にございませんか。

三鬼委員、よろしいですか。

中里委員はよろしいですか。

副委員長、よろしいですか。

ございませんね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○村田委員長 ないようでありますので、本日はおわせSEAモデルの企業の進出ということをお報告いただいたということで、これで委員会を閉じたいと思えます。御苦労さんでした。

(午前11時15分 閉会)